

ミュージアムで感じる“涼”

本格的な夏が到来！夏を涼しく乗りきりたいあなたへ、SMMA 参加館で見つけた、“涼”にまつわるトピックをご紹介します。



かき氷は大人が楽しむ夏のレジャーの一つ？

仙台市歴史民俗資料館



乳白色のモダンなガラス器も戦前のもの

夏といえばかき氷！今は電動であつという間に氷が削れますが、昔は脚がついた鉋(かんな)の上で氷を滑らせて薄く削っていました。戦前は今のよう色とりどりのシロップをかけていたのではなく、砂糖をかけただけのシンプルなもの。かき氷を出前とて、打ち合わせをしながら食べるなど、大人が楽しむ嗜好品だったのだそう。歴史民俗資料館では当時仙台で使われていた鉋の氷削り器のほかにも、冷蔵庫や堤焼の水がめ、井戸のポンプなど涼を感じさせてくれる昔懐かしい道具に出会えます。

開催中の企画展では昔の暮らしの道具のほかに昔の仙台の町を写した写真を展示しています。ご家族でお越しください！



学芸員 燗井洋樹さん

上に水を入れ、下の庫内を冷やしていた冷蔵庫

仙台市宮城野区五輪1-3-7 ☎022-295-3956 開 9:00~16:45(入館は16:15まで) 休 月曜(祝日の場合は翌日)、第4木曜 ☎一般・大学生240円、高校生180円、小・中学生120円

これからのイベント 7月15日(土)~11月5日(日) なつかし仙台4 ~いつか見た街・暮らし~

炎天下、動物たちはどうしてる？

セルコホーム ズーパラダイス八木山



水をかけてもらってゴキゲン

暑い日の過ごし方は日陰で休んだり、プールで遊んだり動物によってさまざま。そんな中、足の裏までやわらかい毛でびっしり被われているレッサーパンダは屋内飼育室に常時冷房が入っているという特別待遇！暑さがとても苦手なので、夏場の涼しい屋内と屋外を行ったり来たりしています。アフリカゾウの涼のとり方のポイントは耳。大きな耳に血管が集中しているので、耳を外気にあてたり、水浴びしたりして血液を冷やすことで体温を調節しています。泥を体に浴びて紫外線をシャットアウトするという工夫も！8月4日(金)はフルーツや魚が入った飼育員特製の氷をホッキョクグマやニホンザルに与える「氷のプレゼント」を開催。冷たい氷にどんな反応を示すのか、必見です！



暑い苦手！クーラー大好き



動物たちに氷のプレゼント

7月に「ふれあい館」がオープンしました！ウサギやヤギなどの動物とふれあいながら、楽しく学べる施設です。遊びに来てください！



飼育技師 高橋一斗さん
ルリコンゴウインコのラブリ

仙台市太白区八木山本町1-43 ☎022-229-0122 開 9:00~16:45(入館は16:00まで) 休 月曜(祝日の場合は翌平日) ☎一般480円、小・中学生120円、未就学児無料

これからのイベント 8月17日(木)~8月19日(土) 夜間開園
※入園・駐車場入場時に大変混み合うことが予想されますので、ご来園は地下鉄東西線(公共交通機関)をご利用ください。

2万年前の「氷河期の森」を歩く

地底の森ミュージアム



湿地跡や旧石器人のたき火跡が発掘された状態で保存されている地下展示。野外とあわせて楽しんで

2万年前の仙台は今よりも平均気温が7~8℃低く、富沢あたりは亜寒帯性の針葉樹林や湿地、沼、草原が広がっていました。ミュージアムの東側にある「氷河期の森」は、発掘された樹木を元に、旧石器時代の植生を復元した野外展示です。絶滅種であるトミザワウヒによく似たアカエゾマツやグイマツ、チョウセンゴヨウなどの針葉樹を中心に、寒い地域に自生する木々や草花が茂り、普段目にする植生とは異なる涼しげな風景が広がっています。鳥のさえずりを聴いたり、植物をさわって匂いを嗅いでみたりと、五感で楽しむことができるスポットです。氷河期に思いを馳せながら、気分をリフレッシュしてみませんか？



トマツは葉を少しもんで匂いを嗅ぐと、爽やかな香りがします

地下展示は2万年前の環境が保存されている、世界的にも珍しい展示です。太古の営みを感じてみてください！



学芸員 鈴木英梨さん

仙台市太白区長町南 4-3-1 ☎022-246-9153 開 9:00~16:45(入館は16:15まで) 休 月曜(祝日の場合は翌平日)、1月~11月の第4木曜日(休日は開館) ☎一般 460円、高校生 230円、小・中学生 110円

これからのイベント 7月21日(金)~9月24日(日) 特別企画展「いにしへの木林森」

最前列はスプラッシュ！な迫力のパフォーマンス

仙台うみの杜水族館



客席まで飛んでけー！



7月1日で2周年を迎えた仙台うみの杜水族館。大人気のイルカとアシカのパフォーマンスが、夏の間はより一層パワーアップ！イルカはダイナミックなジャンプで大きな水しぶきを上げるほか、ビーチボールを客席に向けて飛ばす新技を披露。アシカはホースをくわえながら観客に大接近します。最前列は水濡れ必至！館内展示ではプロジェクションマッピングを用いた演出も登場し、涼感たっぷりに来館者を迎えてくれます。夏のお土産には水族館限定のひんやり餅菓子「イルカのおっぱい」をどうぞ！

イルカたちの豪快な水しぶきで暑い夏を吹き飛ばしましょう！たっぷり濡れて涼みたい方は、ぜひ最前列へどうぞ！



トレーナー 松岡由莉さん

仙台市宮城野区中野4-6 ☎022-355-2222 開 9:00~18:30(7/15~8/10、8/17~8/27、9/16~18は~19:30、8/11~16は8:00~、入館は各30分前まで)

休 無休
大人2100円、中・高校生1600円、小学生1100円、幼児(4歳以上)600円、シニア(65歳以上)1600円

これからのイベント 7月15日(土)~360°パノラマプロジェクションマッピング

夏にぴったりなプラネタリウム番組



毎週土曜 19:30~開催の8月天体観望会では「ポラリス」でも登場する土星を観察する日も、プラネタリウムとあわせてお楽しみを！

仙台市天文台

冷房がきいた空間でゆったり座りながらスクリーン投影を楽しむプラネタリウムは、避暑に最適。毎日上映されているさまざまなプログラムの中でも特に夏におすすめしたいのが「ポラリス」です。シロクマのレナードとペンギンのジェームズが北極と南極の氷のナゾを解くために、宇宙に飛び出すアニメーション。エピソードの中では氷がたくさん登場するので、見ていだけでひんやり気分を味わえること間違いなし！コミカルでハラハラドキドキする二人の宇宙大作戦は見逃せません。(土曜の14:30~、17:40~、日曜・祝日・夏休み期間中の14:30~放映)

夏の夜は暑すぎず、寒すぎず、星空を見るのにピッタリの季節です。各種観望会でキレイな星空を眺めてみてくださいね。



広報 熊田美波さん

仙台市青葉区錦ヶ丘9-29-32 ☎022-391-1300 開 9:00~17:00(土曜は~21:30) 休 水曜、第3火曜(祝日の場合は翌日)※学校長期休暇期間は無休 ☎セット券(展示室+プラネタリウム1回)一般1000円、高校生600円、小・中学生400円

これからのイベント 8月28日(月) 七夕さんの星見会~天の川をみよう~

水にまつわる楽しいチャレンジ・ラボ

スリーエム仙台市科学館



子どもに大人気のメニュー「浮沈子」

3階のチャレンジ・ラボは毎日10:30~11:30、14:00~15:00の1日2回、大人も子どもも楽しめる実験や工作を体験できる場所。7・8月の平日は、夏にぴったりな水にちなんだメニューが実施されます。「浮沈子(ふちんし)」は、ペットボトルと重りをつけた醤油さしで作る簡単な工作。密閉容器内の液体に加えられた圧力は、全ての部分に同時に伝わるというパスカルの原理を応用しています。ボトルを押し下したり離したりすることで、中の醤油さしが水中エレベーターのように浮き沈みする様子がとてもユニーク！空中ではなく、水の中にシャボン玉を作る「水中シャボン玉」も涼しげで楽しい実験です。

夏の特別展「科学捜査展」は犯罪捜査で活用される科学技術を紹介し、タブレットを用いた捜査体験コーナーを設置！特設シアターでは「名探偵コナン」を上映します。親子で遊びに来てください！



スタッフ 吉田香苗さん

仙台市青葉区台原森林公園4-1 ☎022-276-2201 開 9:00~16:45(入館は16:00まで) 休 月曜(祝日の場合は翌平日)、祝日の翌日(日曜を除く) ☎一般540円、高校生320円、小・中学生210円

これからのイベント 7月15日(土)~8月20日(日) 特別展「科学捜査展」

怖くて美しい、背筋ゾクゾクの浮世絵

仙台市博物館



「和漢百物語 清姫/月岡芳年」



「月百姿 吶喊/月岡芳年」

江戸時代から庶民に愛されてきた浮世絵。美人画や風景画など、モチーフはさまざまですが、伝説や奇談を描いた作品も数多くあります。現在、常設展の浮世絵コーナーでは、引き出し型ケースの半分を使って「幽霊、お化けから仙人まで」と題した特集を展開中！中でも注目したいのが幕末から明治期に活躍した浮世絵師・月岡芳年の作品です。思いを寄せた美形の僧・安珍の裏切りに怒った清姫が、蛇に変化して川を遡上して追いかけて、紀州・道成寺で梵鐘ごと焼き殺すという伝説の一場面を切り取った「和漢百物語 清姫」など、恐ろしくも美しく描かれた作品でゾクッと涼しさを感じることができるはず。

現在開催中の特別展「空海と高野山の至宝」では連年の八咫童子立像はじめ貴重な仏像、仏画を展示しています。至宝の数々をぜひご覧ください！



学芸員 鈴木かおるさん

仙台市青葉区川内26 ☎022-225-3074 開 9:00~16:45(入館は16:15まで) 休 月曜(祝日の場合は翌平日) ☎一般460円、高校生230円、小・中学生110円

これからのイベント 7月1日(土)~7月30日(日):前期 8月1日(火)~8月27日(日):後期 東日本大震災復興祈念 特別展「空海と高野山の至宝」

美しく繊細な放散虫のガラス模型

東北大学総合学術博物館



東北大理学部 硝子機器 開発研究室・柴崎正行氏が制作

5億年以上前から海の中で生き続けてきた原生動物・放散虫。その大きさは1mm以下で肉眼では確認できませんが、球状や円盤状、円錐状など、さまざまな形をしています。アメーバ状の体内に珪質(ガラスと同じ成分)の殻をもつことから、放散虫の拡大模型を繊細なガラス細工で展示。涼しげで、ハッとするような美しい造形に魅了されます。館内ではこのほかにも岩石や鉱物、化石など地球・自然が創り出した産物を多数展示。迫力満点な全長14mのイワシクジラの骨格標本や世界最古の魚竜・ウタツギヨリュウの完模式標本も必見です。

10月10日(月)から宮城県庁18Fの県政広報展示室にて、旧金属博物館からの寄贈品をはじめとする貴重な金属資料を公開します！



技術支援員 鹿納晴尚さん

仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 ☎022-795-6767 開 10:00~16:00 休 月曜(祝日の場合は翌平日) ☎一般・大学・高校生160円、小・中学生80円

これからのイベント 10月10日(月)~11月2日(木) 「宮城県と金属-東北大学金属学・金属学コレクション-(仮題)」